

奨学生制度改正について

学生部では、現状により即した奨学生制度の運用を目指し、2007年4月から自己啓発奨学生、指定試験奨学生などの支給基準、出願方法を改定する。「専修大学親代わり奨学生」は廃止される。

詳細は掲示、[ホームページ](#)で確認を。問い合わせは、生田・神田学生生活課、法科大学院事務課へ。

【学部学生】

奨学生種類	改正内容
自己啓発奨学生	個人と団体で別々に支給限度額を設定。 〔支給限度額〕 現行 個人および団体200,000円 改正 個人 200,000円 団体500,000円
指定試験奨学生	旧司法試験の二次試験の短答式試験と最終試験合格者、公認会計士試験の短答式試験と最終試験合格者が対象。 現行 エクステンションセンター事務課に出願 改正 学生生活課で募集 出願制ですので合格した人は、12月上旬に学生生活課奨学金掲示板に注意してください。
専修大学親代わり奨学生	制度を廃止
家計急変奨学生	支給金額 現行 授業料相当額の25% 改正 授業料相当額の40%
無利子緊急貸付金奨学生	奨学制度としては廃止し、貸付制度として運用する。

目標にチャレンジ — 自己啓発奨学生 / 指定試験奨学生

自己啓発奨学生は、学術やスポーツなどの分野で優れた実績をあげた学生に支給される。情報処理技術者試験の中でも難関試験と言われる、テクニカルエンジニア(ネットワーク)試験に合格した綿引啓太さん(ネット情報1)に、2月27日、学生部から奨学金が支給された。

指定試験奨学生は、司法試験・公認会計士試験等の資格試験に合格した学生に対し支給される(短答式含む)。3月5日、奨学金が支給された=写真上。担当所管では、「07年度から出願制となるので、該当者は学生生活課に申し出てほしい。積極的にチャレンジを」と話している。



今年度の支給者は次のとおり(敬称略)。

▽司法試験短答式試験合格=染谷隆明(法4)、藤森誠二(同)

▽公認会計士試験合格=新村弥加(商4)、鷹合正駿(同)、新井聖一(商3)

▽公認会計士試験短答式試験合格=飯塚賢司(商4)、原井常勝(商3)、端山順貴(同)、奈須圭司(同)、古渡裕之(同)

合気道部が護身術指導

合気道部の13人が、2月20日、多摩区役所で行われた同区役所女性職員のための護身術研修会で、講師を務めた＝写真。多摩区・3大学連携事業の一環として、昨年3月に続き協力した。女性職員20人のほか、合気道歴6年の吉井孝大副区長も参加した。

職員一人ひとりの手を取りながら、状況に応じた実践的な対処法を手ほどきした森山武主将(経営3)は、「万が一危険な状況に遭遇してしまったら、頭突きや目潰(つぶ)しなどで相手をひるませ、その隙(すき)に逃げるのが大切」と身を守る秘訣を話した。



経営学部長賞表彰

レスリング稲葉選手に

全日本学生レスリング選手権フリースタイル55kg級で優勝した稲葉泰弘さん(経営3)に経営学部長賞表彰が行われた。

3月20日、同学部教授会の前に廣石忠司経営学部長から表彰状が手渡され、「いただいた賞を励みに、北京五輪出場を目指して予選を戦います」と力強く決意を述べた稲葉選手に、経営学部教員から温かい激励の拍手が送られた=写真。



多摩図書館と相互利用協定結ぶ

多摩区の皆さんも図書館本館・生田分館の利用可能に — 4月から

多摩区・3大学連携事業の一環として、生田キャンパスの図書館本館及び生田分館を4月から多摩区民の皆さんに利用していただくことができるようになります。

利用を希望する方は次の二つの条件を満たす必要があります。

- (1) 多摩区に在住または在勤で18歳以上の方
- (2) 川崎市立図書館の「貸出カード」をお持ちの方

利用いただけるサービス

- (1) 図書、雑誌及びマイクロ資料の館内閲覧 (2) 図書の館外貸出し (5冊以内、20日間まで) ※「図書館利用カード」の発行が必要となります (3) 所蔵資料の複写 (4) 蔵書検索(OPAC)

【問い合わせ】図書館利用サービス係 電話 044(911)1276

《New Ground- 新しい見方<11>》

「学生」と「社会人」

奈良 仁之 (文1・ジャーナリズム研究会)

月日が経つのは早いもの。2007年が始まったと思ったら、もう卒業式の季節になってしまった。多くの大学生は卒業後、企業に就職するという進路を歩むだろう。もちろん、就職できない人や大学院に行く人、それ以外の道を目指す人もたくさんいる。しかし、大半の人々がいつかはどこかの会社に就職して働くことになる。社会の歯車として回り始めなければならないときがやってくるのだ。そんなことを思っていると、漠然とした不安がわき上がってくる。「自分も、あと2年後には就職しなければならない」。

私は、社会人になった自分を想像することができない。きっとそれは「学生」と「社会人」の間にある、とてつもなく大きな差のせいなのだろう。その差は社会的な責任が生まれるからか、社会的な立場を得るからか、社会経済の一端を担うからなのか、私には分からない。しかし、私はそれを「十九歳」と「二十歳」なんかよりもよっぽど子供と大人をくっきり分ける、決定的なもののように感じる。

来年度から、同じ歳の幼なじみが就職する。もう「二十歳」になるのだから、それくらい全然不思議なことではない。しかし、なぜかものすごく遠い話のように思えてしまう。ぐーたらと学生なんかやっていたのか、なんて気分になってしまったりもする。私はその友人に「不安じゃない?」と聞いてみた。そうすると友人は「不安だけど、きっと大丈夫」などと、能天気な答えを返してきた。本当に大丈夫か、などと思ってしまったが、案外こんなもんでいいのかもしれない。案ずるより産むが易し。その友人の前向きさを私は少し尊敬した。

私が社会に出ていくまであと2年。それまでにこの差を少しでも前向きにとらえられるようになっていることを願う。

レオナルド・ダ・ヴィンチの555年 図書館本館で展示

ルネッサンス期の中心人物、レオナルド・ダ・ヴィンチ(1452—1519)が残した手稿(ノート・ブック)や素描は今日の科学技術、土木技術、彫刻、絵画等、さまざまな分野に影響を与えている。

生誕555年にあたり、あらためてその足跡をたどろうと本学が所蔵する手稿のファクシミリ版(複製)を中心に展示が行われる。この機会に、レオナルド・ダ・ヴィンチの世界を探ってみよう。

▽期間=4月2日(月)~27日(金)10時~17時※除く5日(木)及び休館日

▽場所=図書館本館

キャリア支援公開講座

「若手会計士が語る今どきの社会常識」

「ビジネスと法律」公認会計士が解説

キャリアデザインセンターでは、ビジネスの現場で必要とされる法律的な知識や感覚を深め、自らのキャリアを考える上での有益な情報にしておもらおうとキャリア支援公開講座「若手会計士が語る今どきの社会常識」を4月から神田キャンパスで開講する。

新日本監査法人の公認会計士が、「内部統制とコーポレートガバナンス」、「リスクマネジメント」、「CSR」「知的財産」など最新のトピックスを分かりやすく解説する。一般の方も受講可能。

▽期間＝4月26日(木)～7月26日(木)※5月3日を除く全13回

▽時間＝18時30分～20時▽受講料＝学生2500円・在学生の父母／卒業生3000円・一般4000円

※詳細はキャリアデザインセンターホームページで。

《マンガ》

～春～

(漫画研究同好会・フッキー 作)

